

**日本赤十字愛知医療センター名古屋第二病院で
診療を受けられる／受けられた患者さんへ**
～臨床研究に関する情報公開について～

当院では、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報等の診療情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究の詳細についてお知りになりたい場合も、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。なお、研究の詳細については、他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内での開示となります。

研究課題名	カルシミメティクス抵抗性腎性副甲状腺機能亢進症における副甲状腺の病理学的検討		
研究実施予定期間	院長が研究実施を許可した日 ～ (西暦) 2025年 3月 31日		
研究実施診療科	移植内分泌外科		
研究の倫理審査等	治験・臨床研究審査委員会審査日	2019年 5月 7日	
	院長が研究実施を許可した日	2019年 5月 8日	
対象となる方	(西暦) 2019年 4月 1日 ～ 研究期間終了までに、当院移植内分泌外科において、副甲状腺摘出術を受けた方		
研究責任者	所属	移植内分泌外科	氏名 一森 敏弘
研究の意義	副甲状腺機能亢進症はカルシミメティクスという種類の薬が登場したことによって手術を回避できる症例が増加しました。しかし、カルシミメティクスに抵抗性を示し手術を要する症例がいまだに存在します。カルシミメティクス抵抗性のメカニズムの検討は未だ不十分です。カルシミメティクス抵抗性にはリンや副甲状腺ホルモン代謝に関わる Klotho 蛋白やカルシウム感受性受容体などが関与している可能性があります。切除された副甲状腺の Klotho 蛋白やカルシウム感受性受容体の発現を病理学的に解析し、カルシミメティクス抵抗性の病態解明の一助とします。		
研究の目的	副甲状腺の Klotho 蛋白やカルシウム感受性受容体の発現を病理学的に解析することです。		
研究の方法	対象となる方の副甲状腺で免疫組織染色を行い、蛋白発現と腺の腫大や過形成の程度との関係について比較・検討します。免疫染色は、切除組織を冷凍保存し他施設へ運搬し行います。また、臨床情報について、統計学的に検討します。		
研究に使用するもの	免疫染色の結果、および診療録から得られる情報を、匿名化した上で使用します。(年齢、性別等の基本情報等)		
結果の公表	関連学会や学術論文等で発表予定です。対象者の氏名等の、直ちに個人を特定できる情報を公表することはありません。		
個人情報の保護	対象者の方の情報の使用に際しては、氏名や住所等といった個人		

	を直ちに特定できるような情報とは切り離し、対象者個人とは無関係の番号を付けた上で、研究責任者の責任の下、廃棄するまで厳重に保管・管理します。
研究の資金源	本研究は特に資金を必要とせず、外部からの資金提供もありません。
利益相反	本研究の実施にあたり、研究の透明性や公正性を損なうような利益相反はありません。
情報等の二次利用	本研究で得られた情報等は、本研究の目的以外には使用しません。
問い合わせ先	日本赤十字愛知医療センター名古屋第二病院 移植内分泌外科 岡田学 電話 052-832-1121 (代表)